

～脳神経内科のある主な病院～

国立病院機構 仙台西多賀病院	022-245-2111
国立病院機構 宮城病院	0223-37-1131
国立病院機構 仙台医療センター	022-293-1111
東北大学病院	022-717-7000
仙台東脳神経外科病院	022-255-7117
仙台市立病院	022-308-7111
野村宏脳神経内科クリニック	022-224-3741
神経内科クリニック仙台	022-723-6523
東北医科薬科大学病院	022-259-1221
松田病院	022-378-5666
泉病院	022-378-5361
石巻赤十字病院	0225-21-7220
大崎市民病院	0229-23-3311
みやぎ県南中核病院	0224-51-5500
公立刈田総合病院	0224-25-2145



ミヤギノハギ（宮城県花）

西本真理子 画

～入会の手続き～

<連絡先 Tel/Fax/携帯>

- 渡辺 弘 : 022-271-5371
(支部長) 090-4552-5229
- 大田原康彦 : 022-778-7413
(副支部長) 090-6185-9975
- 吉川 明宏 : 022-226-1653
(事務局長)

※留守電の時はお名前と連絡先を録音して下さい。
折り返し連絡致します。

メール: vochebizen16@gakushikai.jp

ホームページ

<http://parkinson-miyagi.com>

<会費>

年会費 : 4,500 円
(年度途中の入会は月割
例 : 12 月入会の場合 1500 円)

<振込先>

郵便振替口座 02260-1-122900

加入者名 全国パーキンソン病友の会
宮城県支部

郵便局窓口においてある [青色の払込取扱票](#)で
お振込み下さい。

ゆうちょ銀行口座・ATM カードをご利用の場合、
振込手数料は無料になります。



一般社団法人

全国パーキンソン病友の会

しおり
宮城県支部 ～葉～

ひとりで悩まず

家族だけで抱え込まず

みんなで

話しあい

支えあい

医療体制の充実と

福祉の向上を求めて

ともに

豊かな人生を

歩みましょう

◆パーキンソン病とは◆

パーキンソン病はゆっくり進む脳神経内科の病気です。主な運動症状は、①動作が遅くなる（無動・寡動）②手足や体幹がこわばる（筋強剛）③手足がふるえる（振戦）です。

主な非運動症状は、①不眠や突発的睡眠（睡眠障害）②気分の落ち込みや不安、幻覚・妄想、認知機能

障害（精神症状）③便秘や頻尿、多すぎる発汗（自律神経症

お薬・リハビリ・手術など適切な治療を続けることで、日常生活に大きな支障なく10年、20年と生活している方もいらっしゃいます。

状）です。これは、脳の黒質という部分の神経細胞が減少し、そこで作られるドパミンが不足して、脳からの信号が伝わりにくくなって起こります。治療の中心は、ドパミンを補う薬物療法です。

◆治療目的◆

- ☆病状の進み方を緩やかにする
- ☆日常生活の妨げとなる症状を軽くする

国立病院機構仙台西多賀病院 病院長

◆武田 篤先生からのコメント◆

パーキンソン病の研究や治療は、近年めざましく発達し、さまざまな選択ができるようになってきました。正しい情報を入手すること、そしてあきらめずに治療を続けることが大切です。

◆友の会は患者・家族のための組織◆

パーキンソン病の患者とその家族が中心となり、全国47の都道府県支部、総会員数約8,000名で構成されています。すべての患者が人間としての尊厳を保ち、医学の進歩に寄与し、療養生活の質の向上と社会啓発活動に努め、相互の親睦・支援、国内外の関係団体との交流を図ることによって、パーキンソン病の根絶を目指して活動しています。

宮城県支部は1994年10月に発足しました。
(2019年現在支部会員数120名)

◆宮城県支部の活動◆

- ① 支部会報 年4～6回発行
(ほかに本部会報 年4回発送)
- ② 医療・リハビリ・介護 etc.の講演会
- ③ 地区交流会・「ミニ集会」
情報交換・歌・リハビリ体操など
- ④ 「秋の一泊研修旅行」
- ⑤ 定期総会（年1回）
- ⑥ 北海道東北ブロック交流会・全国大会
世界パーキンソン病学会への参加
- ⑦ 国会請願の署名集めと募金活動
- ⑧ カラオケ倶楽部（毎週水曜日）
運動教室（原則として毎月第4金曜日）

パーキンソン病患者のための ～公的支援制度～

◆難病医療費助成◆

ヤール度3以上の方、またヤール度が1、2でも、軽症者特例の制度があつて助成の対象となりますので、保健所や難病相談支援センターなどの行政機関、または友の会などにご相談ください。

◆身体障害者手帳◆

障害の程度により、所得税・住民税・自動車税、JR新幹線、バス・タクシー、スマホ、携帯電話料金、NHK受信料、映画館、ディズニーランド、東京スカイツリーなどの割引、青い鳥郵便はがきの利用、手当や補助金、就労支援などなどいろいろなサービスを受けることができます。

◆介護保険◆

パーキンソン病患者で40歳以上の介護保険加入者が要介護、要支援状態になった時に、費用の1割または2割を支払って、介護サービスを受けることができます。